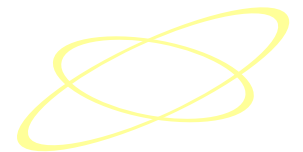
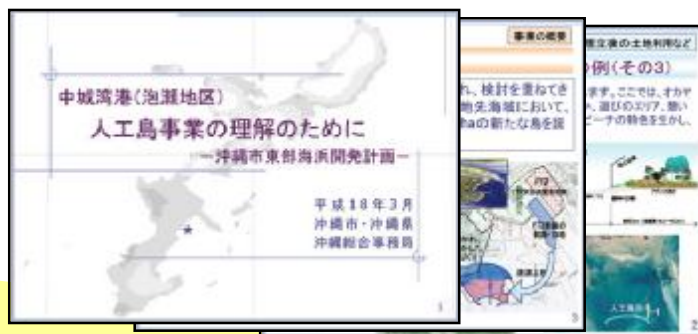


# 「人工島事業の理解のために」を読んで

第4回検討会議にて委員から出された  
疑問等を再整理



# 第4回検討会議にて

(会議報告VOL. 4ポスター版より抜粋)

## 議題)「人工島事業の理解のために」について…文書を読み解く

### 『人工島事業の理解のために』を読み解く…新たな意見や疑問点の抽出

1ページずつ読み上げながら、全てのページについての意見や疑問点を出し合いました。予定時間を大幅にオーバーし、真剣で活発な議論の中から、新たな疑問点が数多く出されています。

これらの意見・疑問点は、『人工島事業の理解のために』と一緒にご覧頂くことをおすすめします。

#### 事業の概要 (P3~4)

- ・この資料の作成は三者のどこが中心で進めたのか？
- ・この事業が本当に起爆剤となるのか？
- ・人工ビーチで東海岸という条件で観光客がくるのか、リピーターとなるのか？環境を保全することが出来るのか、それを継続できるのか？
- ・市民の目線を見た場合、「浚渫土砂を埋めるために事業があって、振興・活性化の起爆剤というのは後付け」と思っている人が多いのでは？
- ・そもそも人工干潟は可能なのか？ など

#### 埋立後の土地利用など (P15~22)

- ・見通しを誤った時のリスクアセスメントは行ったか？
- ・いつから企業誘致をするのか？しても良いのか？まったく目処が立たない状態で埋立地を作るのか？
- ・維持管理への新たな税負担が発生するのではないか？
- ・インフラ整備が91億円というは多いのか少ないのか？沖縄市において大きなリスクではないのか？
- ・土砂の質が悪くて新港地区に使いなかつた土砂を使って埋め立てると、後から地盤沈下しないか？
- ・周辺環境整備は埋立に関係なくできることなのでは？
- ・仮に市長から中止が下された場合、ストップできるか？
- ・中止した場合、復元に要するコストは市が負担するのか？ など

#### 事業の意義など (P5~14)

- ・市民の雇用等の企業への条件付けは？
- ・企業本社の誘致にむけての条件付けは？
- ・大型の船舶が入ることでの環境への影響についての議論はされているのか？
- ・新港地区の労働者のうち当市に納税する人はどの程度？
- ・那覇地区FTZの問題点は分析・解消されているのか？
- ・FTZの活用方法やビジョンや浚渫後の入居企業の見込み
- ・新港地区が出来る前と後の沖縄市の失業率の比較
- ・沖縄市がどういうまちづくりビジョンを持っているのか。目的(起爆剤)にかなったビジョンになっているのか？
- ・ターゲットは何なのか？誰のための事業なのか？ など

#### 環境への配慮 (P23~32)

- ・客観的な事実を示すべき。対処療法にしか見えない
- ・新港地区の人工干潟は、干潟と呼んでいいのか？
- ・海に親しむとか保全とか、本気で考えているのか疑問
- ・環境の保全は、誰がどういう形で責任を取るのか？
- ・中城湾全体での藻場減少の原因分析は？
- ・埋立前に移植が成功しても埋立後も良い状態が保障できるのか？ など

120項目の疑問等が  
あげられた

67項目 沖縄市へ回答を求める疑問等

東部海浜開発事業に関する事  
沖縄市に関する事

40項目 事業者へ回答を求める疑問等

埋立て及びそれに関係する事

15項目 県へ回答を求める疑問等

新港地区に関する事  
沖縄県に関する事

※ダブルカウント 2

1

# 第6回検討会議で取り扱うこと ……沖縄市の現状とこれまでの方向性

沖縄市へ回答を求める疑問等 67項目 東部海浜開発事業に関すること  
沖縄市に関すること

- 7項目 市の現状
- 4項目 市全体の方向性  
総合計画等からみた東部海浜開発事業
- 1項目 市の財政① 現状
- 6項目 市の財政② 事業を行なうことでの負担
- 10項目 事業の中身(市の役割)① コンセプト
- 10項目 事業の中身(市の役割)② 土地利用計画
- 11項目 事業の中身(市の役割)③ 企業誘致
- 4項目 新港地区に関する沖縄市のデータ
- 14項目 その他

※残りの項目は次回以降へ

## 7項目 市の現状

- 31.人口増が沖縄県内で最多であるというが、どのような年齢層が増加しているのか(新産児が多いのか、市外からの移入者が多いのか、リアイアして帰郷した人が多いのか)?  
<この情報は、スライド10の「沖縄市の1人あたりの所得が周辺市町村に比べ低い」との主張を考慮する際にも必要になると思われる>
- 32.石垣は90万人が訪れている。石垣にいくとたくさんの観光客が目につく。  
112万人(全体の2割)の人が訪れていることになるが、実感できない。本当なのか?全体の2割の根拠は?
- 40.沖縄市を訪れる観光客は2割ではないのでは?  
(県外客の割合データは、母数が100でない上に、単純に足し算で沖縄市周辺を訪れた人23.2%で、しかも厳密に沖縄市なのは東南植物楽園とコザだけという…。実際は7.9%ということに。)
- 33.他市町村に比べ失業率が高い要因は? 要因に対応した雇用施策でないとは解決にはならないのでは
- 34.軍用地主が多く働かなくていいという状況はないのか?
- 36.純生産額や市民所得が減少傾向にある要因は? 要因に対応した施策が必要
- 37.沖縄市の観光ポテンシャルについて、2004年の沖縄県が実施したアンケート調査の内容を知りたい  
(個人旅行者とパッケージ旅行者では結果が違う可能性も考えられる)。

## 4項目 市全体の方向性

### 総合計画等からみた東部海浜開発事業

38. 沖縄市がどういうまちづくりビジョンを持っているのか。目的(起爆剤)にかなったビジョンになっているのか？
43. 修学旅行生がくるのはソフトを持っているからであって、ホテルがあるからではない。  
沖縄市はどのような観光を目指しているのか。  
総合計画での東部地区の位置付けや観光振興計画がどのような観光を目指しているのかを知りたい。
49. 中心市街地と連動したまちづくりとあるが、今回の事業の最も重要なテーマである。その意味において現実的で実現可能な具体的策が本事業の成功を左右すると考える。それを示せないと、このすばらしい意義の説得力がない。中心市街地と連結できる計画とはどのようなものか。その資料を提出していただきたい。事業は誘客資源になりうるのか？
50. ターゲットは誰なのか？誰のための事業なのか？市民なのか、観光客か？

## 1項目 市の財政① 現状

67. 三位一体改革の影響で緊縮予算を強いられる中、約500億の負債、39億の公債費を抱える当市が、インフラ費だけでも91億円にのぼる負担になるのは、やはり大きなリスクではないのか。  
沖縄市の起債、公債費、自主財源はどれくらいなのか。

## 11項目 事業の中身(市の役割)③ 企業誘致

11. 新たな雇用の機会創出とあるが、沖縄市民からの採用でなくては意味が無い。雇用の条件付けは？
12. 企業の本社を誘致しなければ税収入はないと思うが、条件付けは？
35. 市外から誘致した企業は繁栄し、その結果、市内の企業が厳しい状況になる可能性はないのか？
42. 中の町・ミュージックタウン構想にてホテルを誘致しようとしたが全て断られた。  
112万人の観光客が訪れるとした場合、ホテル業者は中の町に進出したはず。
57. いつから企業誘致をするのか？しても良いのか？宮古島市は違反なのか？PRもだめなのか？
58. まったく目処が立たない状態で埋立地を作るのか？埋立の根拠は？
59. 本当に誘致活動を全くしていないのですか？(というか、このAはQに答えていませんよね)
60. 誘致が出来ない状態で土地需要の確認作業をして、どのくらい信憑性はあるのか？
61. 企業向けの立地希望アンケートの実施はできないか？  
企業への土地利用の提案を受けるような内容のアンケートは？
62. ホテルを建設するとしているが、実現の見込みはあるのか。  
持続的な観光の集客を実現させるにはリピート率を上げる必要があり、東部海浜開発計画に魅力を感じ採算が見込めると、ホテル建設の名乗りを上げている企業はあるのか。
68. 多目的広場用地について、沖縄市のサッカー場、市競技場、県総合運動公園では不十分としているが、他市町村の中に、市町村の総合運動公園と県の総合運動公園がある自治体がどれくらいあるだろうか。  
沖縄市は県下で一番恵まれているのではないか。

#### 4項目 新港地区に関する沖縄市のデータ

- 21.新港地区で働いている人数のうち、沖縄市に納税する人はどの程度いるのか？ <埋め立て事業により、沖縄市がどの程度の経済的恩恵を受けているのかのデータが欲しい>
- 22.新港地区の61企業の内訳を知りたい。
- 29.新港地区が出来る前の沖縄市の失業率、出来た後の失業率がどのようにかわっているのか。
- 30.新港地区の埋立面積に比べると入居している企業数が少ない気がする。北谷の美浜地区と比較した場合の、1㎡あたりの売上高や、従業員数のデータ。

## ※次回以降で説明する項目

### 6項目 市の財政② 事業を行なうことでの負担

- 64.どれくらい縮減されたのか？インフラ整備が91億円というのはい多いのか少ないのか。
- 65.ランニングコストとして海浜公園と人工ビーチの環境等を維持するために管理事務所を置くことが必要となり、維持管理への新たな税負担が発生するのではないか。
- 66.土地造成の財政負担は少ないと理解したが、むしろ、できて後の維持管理を含めた収支計画が重要であるが試算書はあるのか？あれば開示して欲しい。教育、研究施設は税金で支えるものであり市民、県民に新たな負担を負わせることになる。
- 69.県や市の財政への影響について、抽象的な記述になっている為、根拠が不十分で納得性に欠けるのではないか。
- 70土地の購入について、需要のごとに購入して売却するスキームになっているが、売れない土地は県の負担になるとの理解でよいのか。その場合、県の財政に影響を与える事になるのではないか。
- 75.市が管理するとしている土地利用(ビーチや公園等)が多いが、財政的に大丈夫なのか？



## 10項目 事業の中身(市の役割)① コンセプト

2. この事業が、起爆剤となるのか。人工ビーチで東海岸という条件で観光客がくるのか、リピーターとなるのか、また、人工ビーチで砂を入れていくことで環境を保全することが出来るのか、それを継続できるのか。この起爆剤が大きな意味を持つ。計画が活性化の起爆剤になるとしている理由を示した具体的な資料を出していただきたい。
3. 平成7年から12年間計画が変わっていない。市民の目線で見した場合、「浚渫した土砂を埋めるために事業があって、本島中部圏東海岸域の振興・活性化の起爆剤というのは後付けではないか」と思っている人が多いのでは。
4. 海洋性レクリエーション活動の拠点としているが、東部海浜埋立地区に作ることの優位性と必要性があるとする理由を示した資料を出していただきたい。
5. 埠頭を建設し、国内外の観光クルーズ船を就航させるとしているが、新港地区でも良いのではないか。新港は駄目で泡瀬埋立地区に作る理由を明らかにしていただきたい。泡瀬埋立地区に作る埠頭にクルーズ船を就航させる企業はあるのか。
6. 物流中心の新港や工業団地の近くにある埋立地に観光客は魅力を感じるのか？
46. 海岸線を観光資源とするのは分かるが、単にレクリエーションの場や見るだけの観光ではなく、地域にお金が落ちなくては意味がない。海を生かしたショッピングモールのコンセプトも重要であると思うが具体的イメージはあるのか？
115. 構想そのものには賛成している。具体的な計画内容が成り立つプランなのか。
116. 人工ビーチが起爆剤(事業の目玉)になるのかというのが大きな疑問。自然ビーチに比べて観光客を呼べるものになるのか。地元の人がターゲットというならまた別のやり方があるだろう。起爆剤になるために何が必要なのか。
117. 成功するかしないかはコンセプトを持っているかいないか。事業のコンセプトが明快でない。
118. 目玉がないまま人工ビーチを作って、それが市民の負担になっては困る。

## 10項目 事業の中身(市の役割)② 土地利用計画

- 39.集客の受け皿になるとする資料を出していただきたい。
- 51.東部海浜事業計画に賑わいのあるチャンプルーヴィレッジを計画しているが、誰が作るのか。
- 52.県と市が実施した土地需要確認作業とはどういった方法か、またそのデータが見たい。他の埋立地も勘案しているのか？第一区域相当分を上回る需要があるとの見通しは甘くないか？見通しの根拠が不十分ではないか。現計画規模に見合う土地需要が顕在化していくと想定される根拠はどのようになっているのか。
- 53.確認作業は今後も随時行うとあるが最新のデータも合わせて見たい。
- 54.見通しを誤った時のリスクアセスメントは行ったか？
- 55.年間宿泊需要を56万人と見込んでいる予測の根拠が不十分ではないか？
- 56.宿泊需要の推計値の基礎データが1992年時点での調査報告との指摘は本当なのか？
- 72.陸域へのアクセスが2箇所となっているが、埋め立て地内から発生する交通需要に対応できるのか。
- 73.住宅地が計画されているが、災害時の対策はなされているのか。
- 74.『みなとまちづくり懇談会』での意見の集約・反映の状況。みなとまち懇談会で出されたアイデアはどの様に活かされているのか。

## 14項目 その他

3. 3者のなかでどこが中心に進めた資料なのか？うるま市の関与や姿勢は？
9. 干潟の定義とは+0.2m～+2.2mで正しいのか？その根拠は？というか+0.2m～+2.2mって何？
13. 「労働供給の圧力が高まる」のはなぜか？
14. 「観光を中心とする産業が雇用吸収源」となるのはなぜか？
15. 新たな雇用について具体的な推計値はどうなのか？
17. 大型の船舶が入ることで環境への影響が考えられる。その議論がされているのか。
41. 人口当たりの宿泊施設数比較の意味は？宿泊客は市内の人ではないはず。
44. 「海を生かすための海岸線が非常に少ない」とのことはよく理解できるが、観光客や沖縄市住民が、「人工海岸」を求めているかどうかの情報はあるのか？
84. 仮に市長から埋立の中止が下された場合、ストップできるのか？
85. 中止した場合、復元に要するコストは市が負担するのか？
86. 分からないままに進めることが問題。客観的な事実をしっかりと示すべきで、環境については対処療法をやっているようにしか見えない。
94. 海に親しむとか保全とか行っているが、本気で考えているかどうか分からない。あと付けのような感じを受ける。
119. 環境への配慮でのデータに比べ、事業の意義や土地利用で扱われるデータは、内容的に貧弱に思える(人口統計資料や県の一般的な資料に基づいたものがほとんどである。シュミレーションなどは行われていないのか？この手の事業はそういうものなのか？)
120. 本資料は、環境に関して、「泡瀬干潟の持つ価値や生息する生物についての客観的記述、学術団体(学会など)からの意見書(要望書)などの公開、事業反対者の立場や独自の環境調査結果」、などがほとんど盛り込まれていないため、事業全体(事業が与える影響も含む)の理解を促す物にはなっていないと思われるが、そのように意図して作成されたものなのか？